

■ 各分野における取り組み事例

➤ 受入れ能力確保（業務効率化）に向けた取り組み

- ・国内線保安検査場スマートレーン整備（2025年10月完了予定）
- ・自動運転PBBトライアル導入（2024年10月トライアル開始）
- ・制限区域内におけるランプバスの自動運転トライアル（2024年3月実施）
- ・T1国際線荷捌き場 手荷物搬送ベルト トライアル導入（2023年9月トライアル開始）

➤ 旅客の利便性向上に向けた取り組み

- ・自動運転車いすの導入（2024年10月導入）
- ・T1国際線 FAST TRAVEL機器整備（2025年3月完了予定）

➤ ゼロカーボン実現に向けた取り組み

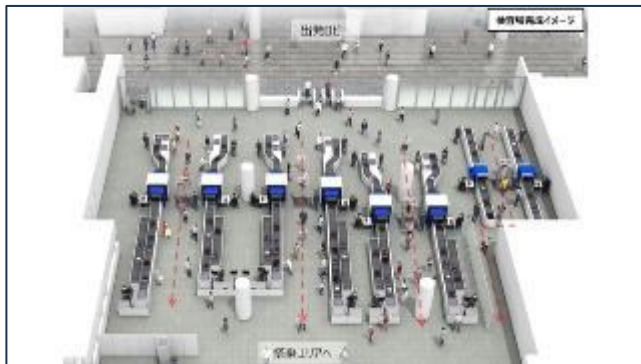
- ・航空灯火のLED化（2030年末までに完了予定）
- ・貨物地区での水素エネルギー活用（2018年11月導入）
- ・ターミナル間連絡バスへの燃料電池バスの活用（2024年1月導入）
- ・コージェネレーションシステム更新（2023年6月更新）

➤ 安全・安心確保に向けた取り組み

- ・鳥検知システム導入（2024年9月導入）

◆空港の持続的発展

1. 受入れ能力確保に向けた効率化



国内保安検査場スマートレーン導入
(2025年10月完了予定)



自動運転PBB
(2024年10月トライアル開始予定)



制限区域内自動運転バス
(2024年3月実施)



手荷物搬送ベルト
(2023年9月トライアル開始)

2. 旅客の利便性向上



自動運転車いす導入 (2024年10月導入)



導入済

▲旅客通過確認システム(PRS)



増設予定

▲自動チェックイン機(CUSS)



導入予定

▲セルフバゲドロップシステム(SBD)

FAST TRAVEL機器導入 (2025年3月完了予定)

◆ゼロカーボンの実現



航空灯火のLED化
(2030年末までに完了予定)



貨物地区 水素エネルギー活用
(2018年11月導入)

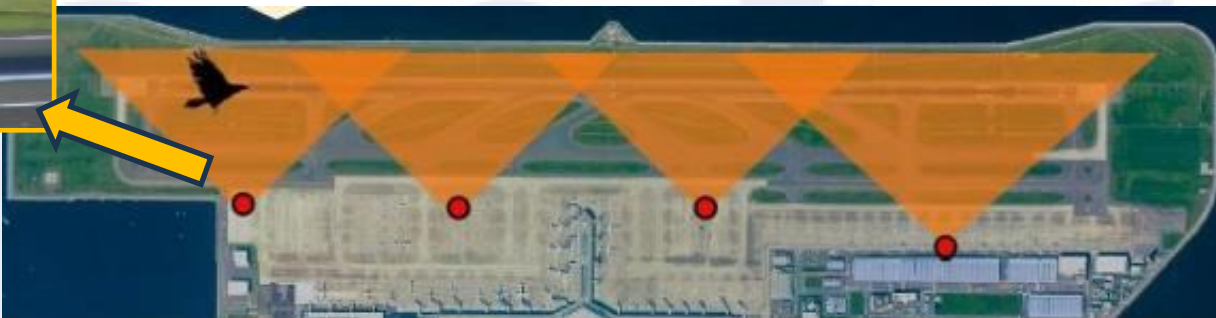
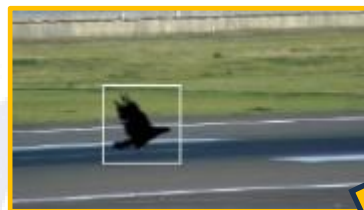


ターミナル間連絡バスの
燃料電池バス活用
(2024年1月導入)



コージェネレーション
システム更新
(2023年6月更新)

◆安全・安心の提供



鳥検知システム導入 (2024年9月導入)

■ 課題・懸念

- 人手不足への対応
- 現場従業員の安全確保
- 老朽化対策

■ 重点分野

- 保安検査の省人化・無人化
- 事故防止
- 施設の維持管理